

京都会館再整備事業に対し、事前に寄せられた主な意見一覧

■ 舞台機構・舞台サイズへの意見

1 舞台サイズ

- ・舞台サイズ（間口、奥行、高さ）の充実
- ・四角形のオーソドックスな型の舞台
- ・上手の袖の高さを確保する。

2 舞台装置

- ・バトン本数、可動域、間口の充実。
- ・バトン重量を超える物を吊れるよう、スノコ作業を可能に。
- ・美術バトンの端が袖幕でかくれる構造に。
- ・大黒幕を備える。
- ・綱元の操作性の向上、配置の見直し
- ・あきすぎた盆の隙間の改善
- ・音響反射板の機能見直し、設置方法の改善、板の移動場所の改善（出演者動線と重複しないように）
- ・袖幕の増設、巾・長さの増加、舞台に対して平行に設置。
- ・可動式でよいので花道を設置
- ・舞台上からの照明設備の設置
- ・オケビは電動で昇降出来るように。
- ・オペラカーテンは必要
- ・電源総容量の増設
- ・ステージに対し、客席に近い角度、位置に音響操作調整室を。
- ・多様な催しに対応出来るように持込や追加機器に対して柔軟な音響システムに。

3 出演者動線等

- ・大人数の出演者が入れ替わることを想定したステージに。
- ・花道サイズの充実
- ・舞台袖と客席、ロビーを繋ぐ動線の確保
- ・影アナなど進行整備を下手に。

4 楽屋、リハーサル室他

- ・大人数の出演者のリハーサル場として使える部屋の設置
- ・楽屋の数、広さ、床面等の充実、トイレの整備
- ・楽屋から舞台までのバリアフリー
- ・防音設備のある楽屋が必要

5 客席、ロビー等

- ・第1ホールの音が第2ホール客席に届くことがある。
- ・客席の収容人数の確保（2000人を切らないように）
- ・2階が1階席に被る範囲を少なくするなど、空間の充実を。
- ・客席とロビーの間を二重扉に。
- ・親子室等の乳幼児と一緒に鑑賞できる部屋の設置
- ・ホワイエに映像モニターを設置

6 ホール周り、搬入等

- ・搬入口の拡充、舞台高さとの整合、屋根の設置。
- ・ホール周りの屋根の確保（観客の入場前に陽をよけて並ぶスペース、出演者移動の雨天対応）
- ・地下部分に大容量の関係者のみの駐車場を設置
- ・楽屋からタクシーが出る際に北側一方にしか抜けられず、Uターンする必要がある。通り抜けできるように。

7 全体

- ・多目的ホールの意味も理解できるが、より音響（ひびき）に配慮したホールに。
- ・会館設立同時、プロのためだけでなく、学校等の発表の場、文化の発信場として建てられた趣旨を継続してほしい。
- ・デザイン的なことも重要だが使い勝手が良い方がよい。
（搬入条件、楽屋のサイズと数、トイレの数（特に女性用、フレックス利用など）車イス席、ロビーの広さ、来場者導線など）
- ・現行の建物価値を継承するために、現存の舞台設計をなるべく生かした形での検討を望みたい。
- ・「大は小を兼ねる」にならないように風致地区に相応しい建物サイズに収まることを考慮して舞台機構、サイズを考えて欲しい。
- ・京都の伝統文化に相応しい内装、外観に。

■ 再整備事業全体に対する意見

- ・内部の改修は必要と考えるが、高さ制限をはずしてまで文化的価値も高い建築を建て替えることには反対
- ・景観、建物価値、財政、舞台等の様々な側面について十分に専門家、利用者、市民等からの意見を聴取し、しっかりと検討すること。
- ・岡崎地域の特徴である豊かで落ち着いた景観を守り育てる計画に。
- ・再整備後の運営計画については、無理のないものに。
- ・収益事業ではないので使用料金は現状維持して欲しい。